

建物配置計画・施設レイアウト

- ・アリーナは敷地の北東寄りに配置し、西側の住宅や店舗等に対する圧迫感を軽減するとともに住環境・生活環境の保全に努めます。
- ・子ども広場（緑地・広場）は建物南西側に隣接して設け、陽当りを確保し、西側の住宅地から気軽に立ち寄れる配置とします。
- ・駐車場は敷地の南半分に集約して配置し、県道58号線（袋井春野線）からスムーズにアクセスできます。またアリーナ・広場周辺の北側エリアと明確に分離し、歩行者・自転車の安全を確保します。
- ・駐車場は458台（うち身障者用9台は屋根付き）、駐輪場は建物エントランスや子ども広場に隣接して300台を集約配置し、利用者の利便性と安全性に配慮します。

安全で利用しやすい配置・動線計画

観客および施設の利用者は中央の「どまん中ストリート」やキャンピー、西側の歩行者出入口からアプローチします。選手はバス乗降場から、大会関係者や施設管理者はバックヤードからそれぞれアリーナ東側又は西側の通路を使い、観客と別々にアプローチします。

シンプルで管理しやすい外構動線計画

- ・駐車場・バックヤードは耐久性と更新性に配慮して密粒度アスファルト舗装とします。駐輪場はバイク置き場兼用となることに配慮しコンクリート舗装としました。
- ・「どまん中ストリート」や広場周囲・ウォーキングコースは意匠性・更新性に配慮した舗装とします。
- ・雨水排水は敷地外周の側溝や樹で集水し、雨水貯留槽を経て北側の既存調整池に接続します。

